

# ふれあい フェスティバル

## 老人のつどい開催

例年開催されている「妹背牛町老人の集い」(主催：町老人クラブ連合会)が今年で35回目を迎え、桃の節句の3月3日、老人福祉センターにおいて開催されました。参加対象となるの



は、妹背牛に住む満60歳以上の方で、約80名の方が集いました。開会式では「高齢者の交流と親睦を深め、楽しい

時間を過ごしてほしい」と石原敏之老人クラブ連合会長より挨拶がなされ、併せて町老人福祉功労者表彰が行われました。老人クラブの発展に大きく貢献されたとし、前会長の荒井一隆さん、佐々原営子さん、林稔さん、土田乃り子さんに表彰状が贈られました。その後は映画鑑賞し、午後からは日頃から練習されているカラオケやダンスを楽しみました。

## ファーマーズカーリング大会

今年で13回目を迎えるファーマーズカーリング大会が、2月25日カーリングホールで開催されました。参加チームは農業者や農業関係者で構成された10チーム約70名。5チームずつブロックに分かれたリーグ戦



を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進み順位を争います。参加チームは、町内の気心が知れたもの同士、珍プレーには笑いが起こり、スーパープレーには惜しみない拍手が贈られ、和気藹々とした楽しい大会となりました。

優勝は農協職員で構成された「チーム」A「JA丸」に輝き大会の幕が閉じられました。

## 一人で悩まず相談を

2月26日わかち愛もせうしひろばにおいて、法律相談講演会が開かれました。高齢者を取り巻く問題を、弁護士が分かりやすく解説をしてくれました。参加はおよそ30名。

振り込め詐欺や訪問販売、遺産相続や遺言など様々な分野の問題を身近な事例を取り上げながら3人の弁護士が分かりやすく説明。

参加者も、真剣な面持ちで説明に耳を傾けていました。

お悩みをお持ちの方は…

「わかち愛もせうし弁護士ほっとらいん」町健康福祉課(包括)が窓口となり、相談者と法律事務所との橋渡し役となり、問題解決



に向けサポートしていきます。詳しくは町健康福祉課までご連絡下さい。

## 廃材で手作り雛

桃の節句を間近に控え、悠遊クラブの教室に可愛らしいお雛様が飾られています。これは悠遊クラブの会員がトイレトペーパーの芯や牛乳パックを利用した手作りのお雛様です。作成日数は2日で、トイレトペーパーの芯に色鮮やかな折り紙を貼り可愛らしいお雛様が完成。ひな壇には牛乳パックを利用し、細かなお道具やぼんぼりもすべて手作り。



現在、12名の会員で平均年齢は85歳。これからの活動としては、JRを利用して旭川での映画鑑賞という課外授業が予定されていて、会員の皆さんも楽しみにしている様子でした。

## 保育所雛祭り



3月1日、保育所で雛祭り行事を楽しみました。ホールのステージにはお雛様が飾られて、園児みんなでお雛様の歌を元気に歌いました。また、園児たちが着物に着替え、お内裏様とお雛様に変身。先生手作りの冠や烏帽子を頭に付け、特別に作られたひな壇でニコリ。着物姿になった園児に向けて順番を待っている子どもたちから「かわいい〜」と声を掛けられ、はにかむ姿も。給食の時間には雛祭りパーティーも予定されていて、子どもたちの好物が用意された雛祭りの特別メニュー。お雛様になりきるよりも、給食を楽しみにしている様子の子もたちでした。

## ペペル樽祭り開催

毎年恒例となっているペペル樽祭りが、2月17日妹背牛温泉ペペルで開催されました。

会場には、職場仲間やお友達同士など多く町民の人たちが詰めかけました。ビールのほか、日本酒やワインなど様々なお酒が取り揃えられ、温かい味噌おでんやから揚げ、握り寿司なども用意されました。来場者たちはお好みのお酒を片手に会話も弾み、会場は笑い声が絶えませんでした。

さらに、会の後半には空くじなしのビンゴゲームが行われ、番号が呼ばれるたびに歓声があがり、一層盛り上がりを見せていました。



## 親子でワカサギ釣り

親子で共通の体験を通し、コミュニケーションを深めてもらおうと町教委主催の親子体験事業が行われました。対象となるのは小学生の親子で、6組16名が参加し新篠津村にあるしのつ湖でワカサギ釣りに挑戦しました。天候にも恵まれ、釣り場の小屋にはストーブもあり温かい中でワカサギ釣りを楽しみました。釣り用の穴に釣り糸をたらし「アタリ」を待ちます。ワカサギが釣れると子どもたちは大はしゃぎ。小屋の中には子どもたちの歓声が響きます。また、ウグイやフナも釣れ普段あまりできない体験に参加した親子は満足そうな表情を浮かべていました。遅めの昼食後は、地元の温泉に浸かり親子の時間をたっぷり満喫した様子でした。

